



三春中学校だより

第 56 号

発行日 令和 2 年 2 月 7 日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

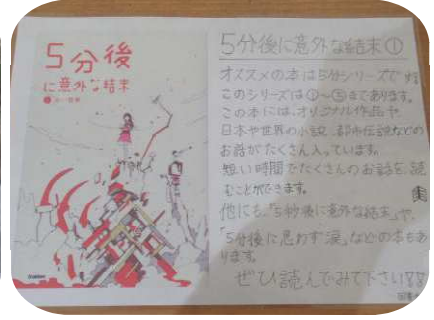
E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【着実に、確実に！ ～今日も校旗は揚がり、図書が紹介されています。～】

寒さ厳しき折、毎朝毎朝、生徒会の子どもたちのおかげで校旗が掲揚台ではためいています。校舎を巡回すると、『5分後の意外な結末』という本の紹介が図書委員により棚の上で紹介されています。

目立たない活動ではありますが、実に、着実に、確実に仕事を全うする姿には頭が下がります。多分、いつものこととして、それほど賞賛されることもないのかもしれませんが、自分のために、みんなのために（共に）、着実に、確実な（ひたむきで、こころ豊かな）活動こそ大事にしなければならないと校長として強く思います。



【御木沢小学校授業研究会へ参加！ ～町の学力向上の方向性について考えました。～】

2月4日（火）の午後、御木沢小学校において授業研究会が開催されました。『特別の教科 道徳』の授業で、題材は『本当の親切とは』というものでした。参加者は御木沢小学校の先生方を含め総勢28名、指導案を頭において、先生の働きかけに対して子どもたちがどう反応しているかについて参観していました。麻布教育研究所というところの永島先生が本日の授業研究会の講師の先生でした。講師の永島先生は、右手にデジカメ、左手には三脚にセットしたカメラらしきものを持って、子どもたちの動きに注目しつつ、教室内をめぐって歩いていました。

授業が終了し、参加者全員で事後研究会へと移りました。事後研究会では、これまでは、授業者自評、質疑応答、研究協議という進め方が一般的ですが、この日は、いきなり講師の先生から課題が提示されました。質問は、「今日の子どもたちの学ぶ姿から参観者のみなさんが学んだことは何ですか。」というもので、「3人グループで話し合ってください。」と続きました。話し合い終了後に出された課題は、「それを参加者全員が30秒で発表してください。」というものでした。こんなことも提案・質問されました。「〇〇さんの様子が変わったのは授業が始まってから何分後でしたか。」

事後研究会を通して一貫していた講師の先生の姿勢は、“すべての子どもたち全員をとにかく見尽くそう” “指導の原点として一人ひとりの子どもたちが見えるようになる必要がある” ということではなかったかと振り返りました。三春町の教育委員会も大きくかかわってくださり、2月4日というこの時期の御木沢小学校の授業研究会は、次年度につながる『三春の教育』への提言授業でもあったと感じました。

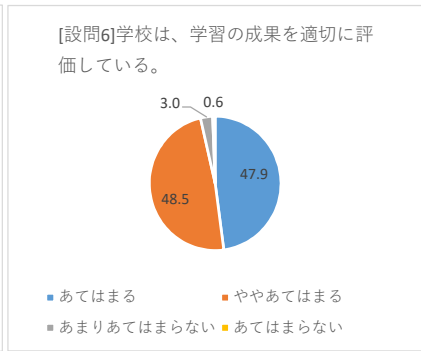
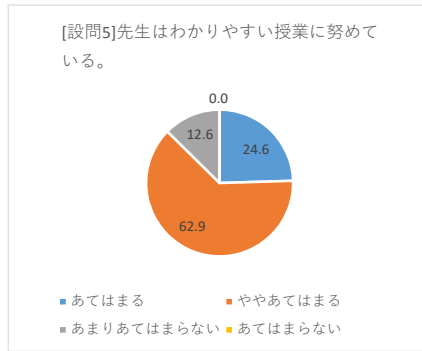
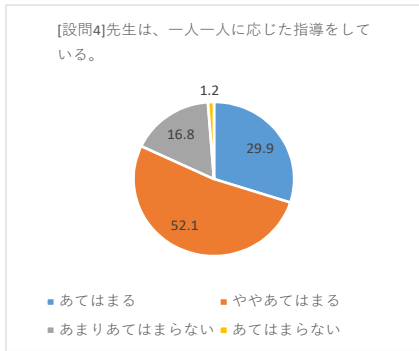


さて、先日ご協力いただいた三春町学校評価システムの学校評価アンケートの『先生は一人ひとりに応じた指導をしている』の評価では、82.0%のみなさんからは肯定的な評価をいただきましたが、18.0%のみなさんにとっては、『一人ひとりの生徒をしっかりと見尽くす』ことが授業・指導改善への特効薬だと思います。同様に、『先生は分かりやすい授業に努めている』の12.6%のみなさん、『学校は学習の成果を適切に評価している』の3.6%のみなさんへは、『指導の原点は一人ひとりの子どもたちをしっかりと見るところから始まる』という指導の原点に立ち返ることで、適正な評価、そして、肯定的な評価につながるものと確信いたします。

一緒に参加した本校教員も、今回の授業研究会についてとても印象深く参加させていただいたようで、これまで以上に、子どもたち一人ひとりに視点を合わせて、よりよい指導の展開を心がけるのではなく、学ぶ生徒一人ひとりの学びの成立という観点から、生徒とともに作っていく授業、生徒と共に学び続ける学習というものをめざしてまいりたいと存じます。

方法論よりもまずは子どもたち一人ひとりをしっかりと見尽くしていくこと、それがよりよい授業の

原点であることを再確認させていただいた三春町立御木沢小学校の授業研究会でした。



【アンサンブル発表会！～心と音を、つなぎ、合わせて、すばらしい演奏が聞かれました。～】

2月6日（木）に、3学年音楽科において、『アンサンブル発表会』を行いました。
 事務処理もそこそこに担任の先生と一緒に音楽室の扉を開くと、くじ引きで末広がり8番目をひいたグループの女性3人組演奏家が演奏を開始するところでした。フルート・ピアノ（頭と足だけの写真ですみません）・ボーカルの優しい演奏と曲に感動しました。その後は男性陣が続き、締めは『パブリカ』の演奏で、会場中を巻き込みながら、一体となって演奏・音楽を楽しんでいました。
 音楽の学習成果の発表の場でしたが、生徒さんの新たな一面も見ることができて、楽しい時間となりました。まとめの時期、受験と何かと慌ただしく落ち着かない時期であるからこそ、音楽のすばらしさ・心の豊かさを忘れてはならないと感じました。



【町食育推進実行委員会開催！～『つながる食育』の成果と課題について協議しました。～】

2月6日（木）の午後、本校において、三春町主催の令和元年度つながる食育推進事業第2回食育推進実行委員会が行われました。三春中学校が活動母体となり、三春町の小・中学校・地域における『食育』研究・推進の中心として本校が取り組んでいる事業です。
 冒頭、主催者あいさつとして、町教育長様より、『主体的・対話的・深い学び』の視点から、町『食育』に関わるみなさんが、『食』をとおしてさまざまな対象とつながることの大切さについて述べられました。その後、協議が行われ、本校栄養教諭から本校『食育』の事業内容や成果と課題についての報告、関係教職員からの『食育』とつながった教育活動の報告があり、それに対して、委員として参加された本校PTA佐久間会長様、岩江中高橋校長先生、永年本校『食育』に対しご指導・ご助言いただいている郡山女子大亀田先生、県教委健康教育課指導主事遊佐先生よりお話をいただきました。明日2月8日（土）の10時から『親子料理教室』も予定されています。

